

# 8

## くらしの中に伝わる願い

わたしたちがくらす草津市には、昔から残っている行事や祭り、建物があります。どのような願いや言い伝えがあるのか、調べてみましょう。



↑ 草津宿街道交流館

↓ 史跡草津宿本陣



↑ たび丸くん  
草津市のマスコットキャラクター

### 1

わたしたちのまちに残る古い建物

#### 気づく

草津で守りつがれているものには、どのようなものがあるのでしょうか。

#### れきし 歴史を伝えるもの

草津には、歴史を伝えるものがたくさんあります。「草津宿本陣」は、昔、大名などが旅のとちゅうに泊まったり、休けいしたりした場所です。



↑ 昔の草津の様子<草津市蔵>



↑ やまざきそうかん 山崎宗鑑の句碑  
山崎宗鑑は、むらまち せんごくじだい かつやく 室町、戦国時代に活躍した かいがい せき 俳諧の祖で、くさつし しなまのう 草津市志那町の出身です。

みなさんの地域にも神社など歴史のある建物がありますか。みんなでさがしてみましよう。昔から伝わるお祭りなども調べられるといいですね。

自分たちの地域の歴史や建物などについて、知っていることを話し合おう。

### 三大神社

常盤小学校区にある三大神社は、藤の花で有名です。みごとな花が地面にふれるほど長くなることから、「すなずりの藤」とよばれ、5月の連休にはたくさんの観光客がおとずれます。



↑三大神社 < (公社) びわこビジターズビューロー提供 >

### 道標

道を歩いていると石でできた昔の案内の印を見つけました。

追分道標は、江戸（今の東京）までの道の分かれ道を案内しています。

矢倉道標を右へ曲がるとびわ湖を船でわたって京都まで行く道がありました。



↑矢倉道標

↑追分道標

### 調べる

建物や祭りなどには、どんな歴史があるか調べてみましょう。



花おどりは毎年9月13日の伊砂砂神社のお祭りの日に行われます。この日は、花おどりの前に地いきの人たちがたくさん集まって、江州音頭ごうしゅうおんどをおどりながら神社まで歩きます。地いきをあげてこの祭りをもり上げようとする取り組みです。



### いかす

地いきの歴史がわかるものを、みんなでさがしてみましよう。

## 2

### わたしたちのまちに伝わる祭り



### しづかわ 渋川の花おどり

渋川の花おどりは、9月に伊砂砂いささ神社で行われる行事です。昔の人たちは、米づくりのときに雨がふるようねがにお願いをして、そのお礼におどりました。

おどる人がだんだん年をとり、人がへってきているのがなやみです。古くからの行事がとぎれないように、ほぞん会をつくって、小学生や中学生におどりを教える活動などもしています。



### きょう土芸能げいのう

きょう土芸能にはいわれがあります。歌やおどりの一つ一つに意味があり、受けついできた人たちの思いや願いがこめられています。



### 祭り

地いきには、人々が受けついできた祭りがあります。祭りを通して、人々は元気になり、おたがいの結むすびつきが強まります。

## ほぞん会の方のお話



ほぞん会の人たちが相談している様子

花おどりを守っていく、伝えていく、という強い思いをもって活動しています。花おどりがとぎれないよう、同じような思いをもち、一緒に活動する人を、一人でも多く増やしたいです。

毎年本番に向けて、1か月ぐらい前から練習が行われます。この日の夜も、ほぞん会の人たちが仕事を終えて集まってきました。昔から<sup>つた</sup>伝わるおどり方をたしかめたり、本番のことを相談したりしながら、おそくまで練習が<sup>つづ</sup>続きます。

「渋川学区ふれあいまつり」が近づくと、渋川小学校でも花おどりの練習をしています。ほぞん会の人<sup>が</sup>やさしく教えてくれます。

草津市内には、たくさんのきょう土芸能があります。調べてみましょう。



花おどりの練習風景



「渋川学区ふれあいまつり」に向けて体育館で花おどりを練習している様子



草津のサンヤレおどり

草津のサンヤレおどりは、毎年5月3日に下笠、矢倉、志那、吉田、志那中、片岡、長束の7つの地域で行われる行事です。かつては、お米などの農作物がよく実り、悪いことがおこらないようお願いをするためにおどっていました。

草津のサンヤレおどりは、平成30年5月24日に日本遺産に追加認定されました。